

笑顔とあたたかさ
あふれる未来を創り
出す力の育成

- 東京都教育目標＜一部抜粋＞
- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
 - 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
 - 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

- おおた教育ビジョン「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」をもつ子ども像
- 意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも
 - 多様性を尊重し、自分や人を大切に生きていくことも
 - 地域とつながり、社会の一員として貢献しようとする子ども
 - 自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出す子ども

健康・安全・人権なくして
教育なし

教育目標 ○ すすんで学ぶ子【知】 ○ こころゆたかな子【徳】 ○ たくましい子【体】

目指す学校像 あいうえおの学校～心・体の元気な学校をめざして～

あいさついっぱい学校

あかるく、いつでも、さきに、つづけて
あいさつできる習慣を身につける。
児童が実感できるあいさつ自慢の学校に

- あいさつ・返事のしっかりできる児童に
- 各学級におけるあいさつ指導の重視
- あいさつ運動やあいさつリーダーの育成
- あいさつアンケートの実施し、
自分のあいさつ習慣を振り返ると共に
実践意欲を育てる。
- 毎朝、校門における管理職・教員のあいさつ
- ホームページや学校だより等で
あいさつ運動の周知
- 家庭や地域におけるあいさつ習慣
- 保護者・地域によるアンケートの実施

うんどう大好きな学校

- 体育指導の充実
児童がめあてをもち、課題解決を図ろうと
する授業展開(めあて学習・活動・振り返り)
指導教諭による授業公開と指導法研修会実施

- 学習環境の整備
体育黒板、学習カード、場の設定、学習の流れの
掲示 体育教具の工夫等
- 体育的活動の充実
休み時間の外遊びの励行
運動環境の整備 等
- 1校1取組の実践(長縄跳び・短縄跳び)
- 1学級1取組の実践
- 体力テストの実施、分析・考察、取組の実施

えがおがいっぱい学校

- 学習規律の確立・徹底(道塚スタンダード)
- 児童が「できた」「わかった」と感じる授業づくり
- 発達段階に応じ、児童が学習の見通しをもち
自ら課題を解決していける授業を展開
児童が主体的に学習に取り組めるように
- 発問・指示、対話的活動、板書の工夫、ノートづくり
- クロムブックやデジタル教科書の効果的な活用
様々な活用法の開発や情報共有を行い、
指導実践を蓄積
- プログラミング教育の推進
(各教科におけるプログラミング的思考の実践)
- 一人一人に応じた個別支援の充実
- 外国語活動の充実
ALTを活用し、外国語科を5、6年70時間、外国
語活動を3、4年35時間、1、2年25時間実施
- OJ研修の推進
- 宿題や家庭学習の充実、学習習慣を確立
- 地域や外部人材の教育力を生かした学習
(学習支援員・スクサポによる支援)

おもいやりいっぱい学校

- 「リーダー・イン・ミー」の7つの習慣の実践
学習・生活・特別活動など様々な場面で活用
児童の主体性・互いを尊重しあう態度の育成
- きずな学級(自閉症・情緒障害特別支援学級)との
連携
- 特別に支援の必要な児童に対する指導・支援
(SC、サポートルーム、外部機関との連携、等)
- 「特別の教科 道徳」を通し、多面的・多角的に
深く考えたり、議論したりする道徳教育を充実
- 年間を通し「読書・学習の時間」を設定
豊かな想像性・感性を育てる。
- 音楽会を開催し、自己表現の楽しさや喜びを
- 不登校対策における組織的対応の充実
- いじめの早期発見・早期解決
ふれあい月間におけるアンケート、高学年アンケ
ート(隔月)、SCによる5年生全員面接等

おおた教育ビジョン＜本校の重点指導＞

基本方針1 持続可能な社会を作り出すグローバル

個別目標1

予測困難な未来社会を創造的に
生きる力の育成

- ☆ 新教科「おおたの未来づくり」の
推進
カリキュラム開発と研究実践
エリア協議会における情報共有
- ☆ 生活科・総合的な学習
学びを創る力
すすんで関わる力の向上

個別目標3

一人ひとりが個性と能力を発揮する
ための基礎となる力の育成

- ☆ 委員会活動やクラブ活動等
児童が主体的に取り組む活動
- ☆ 学級活動の充実
(学級会指導の共通化等)
- ☆ 「リーダー・イン・ミー」(7つの習慣)を
教育活動に生かす
(主体的な児童の育成)
- ☆ 体育授業の充実(高:教科担任
制)
- ☆ 校内の運動環境の整備
- ☆ 小中一貫教育の推進

基本方針2 こどもの可能性を最大限に引き出す

個別目標4

学校力・教師力の向上

- ☆ リーダー・イン・ミー研修の充実
- ☆ 高学年教科担任制
- ☆ 低中学年道徳交換授業
- ☆ 1人1台のクロムブックの活用
個別学習の最適化・協働的学び
- ☆ 学習計画、毎時間の学習の見通し
- ☆ 校内OJT・学年OJTのさらなる推進
- ☆ ミドルリーダーの育成
- ☆ 学年・組織としての指導・対応
- ☆ 働き方改革
何のために？常に問いかけ、
職務内容の見直しを図る

個別目標5

自分らしく生き生きと学ぶ

- ☆ 不登校対策
組織的に対応するシステムの構築
- ☆ いじめ0を目指して
軽微ないじめも
早期発見・早期解決
(1週間以内を目途に)
- ☆ きずな学級・SRとの連携の充実
困った子は、困っている子
- ☆ 家庭との連携
「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の
奨励、基本的生活習慣の定着

基本方針3 未来を担う子ども

個別目標7

自分らしく生き生きと学ぶ

- ☆ コミュニティスクールの推進
地域との連携・協働
こどもたちの為に 働きやすさの為に
- ☆ 教育活動の情報発信
HPの更新・配布物オンライン配信
- ☆ 保護者との連携強化
家庭と学校が顔の見える関係に
- ☆ PTA・スマイルパパ、地域との連携
- ☆ 土曜学校公開(年3回)
- ☆ 安全な教育活動の場の確保